

<丸の内投資セミナー 主な質疑応答>

日時 : 2023年12月9日(土) 13:00~13:40

出席者 : 執行幹部 CFO補佐 會田 靖、財務部 IR室室長 荒木 裕一

Q. ウクライナ情勢を受けて、ロシアにおけるビジネスの状況について

A. ロシアにおける主要事業である自動車販売を行うディーラー子会社があるが、自動車の輸入及び現地生産の停止に伴い、現状は新車の販売は行っておらず、中古車販売及びアフターサービス事業のみを行っている。当初は赤字に陥ることを覚悟していたものの、現地従業員の努力もあり、何とか黒字を維持している状況。

Q. 本日説明にはでてこなかった地域、ヨーロッパや中南米のビジネスについて教えて欲しい

A. ヨーロッパや中南米でも様々な事業を行っている。自動車の輸出・販売に焦点を当てて説明すると、アドリアやコーカサスといった東ヨーロッパの地域、中南米ではドミニカ、ジャマイカなどの国々へ輸出・販売を行っている。今期、これらの地域の輸出・販売は非常に好調で自動車本部の通期見通しは570億円を見込んでいる。

Q. 為替感応度と今期の為替の見立てについて

A. 全通貨に対して1円の円安が進行した際、当社の税後利益に与える影響は15億円。今期の為替見通しについては1ドル140円と見込んでいる。足元は140円を上回る円安が進行しているが、今後の日銀の金融政策などによって円高方向に振れると見ており、通期のレートは140円とした。

以上